



■ 強いクラブを創る

ロータリークラブにおけるすべてのことは満足感に始まり満足感に終わるといわれます。勿論、ロータリアンがクラブ会員として維持、継続している理由もこの満足感にあると言えるでしょう。例会に出席するのが楽しい、楽しみだ、友人に会えると思える環境が満足感をつくり出す第1のステップではないでしょうか。これらの環境は私達共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものであり、互いの関係や行動の土台として、ロータリーの基本理念である「ロータリーの目的」「四つのテスト」を大切にしています。そして多くのロータリアンの満足感奉仕(Service)、親睦(Fellowship)、多様性(Diversity)、高潔性(Integrity)、リーダーシップ(Leadership)という中核的価値観であらわすことができます。

- 奉仕(Service)は会員に受け入れられる事業をしているだろうか？会員の参加人数(率)は充分だろうか？社会に評価されている事業だろうか？等を調査する必要があるのではないのでしょうか。
- 親睦(Fellowship)はどうでしょう。会員間の相互のコミュニケーションは充分にとられているのでしょうか？ロータリーの基本理念を踏まえた討論ができる環境はあるのでしょうか？特定の会員に疎外感をあたえる行動はしていないのでしょうか？等などを検討すべきでしょう。
- 多様性(Diversity)では職業に偏りはありませんか？年齢構成は、若い会員が入会しやすい環境はありますか？女性会員の比率はどうですか？など様々なアイデアを導入するために多様な会員構成になっているのでしょうか？
- 高潔性(Integrity)については社会的責任としての「四つのテスト」や職業奉仕について自分と職業の倫理向上に役立つ学びの機会がもたれているのでしょうか？
- リーダーシップ(Leadership)では会員の誰もが自ら進んで様々なロータリー活動に行動できているのでしょうか？自分の考えやアイデアを他の会員に話したり、活躍の場や、それを受け入れる環境づくりがなされているのでしょうか？

私達はクラブにおいて、これらの中核的価値観を5段階に分けたアンケート調査で数値化した満足度を調査することで自分のクラブがどんなクラブであるのかを知ることができます。満足度が高いクラブは今後どのように維持して行けば良いのかを、また、満足度の低いクラブは何をどのように改善すべきかを検討する必要があります。

クラブの分析をするリソースとしては国際ロータリーの資料「クラブの健康チェック」(2540-JA-(516))があり、結果に対する対処方法のヒントが記述されています。他にもロータリー・リーダーシップ・研究会(RLI)「参加者テキスト資料:戦略計画とクラブの分析①ロータリークラブ自己評価表」が参考になります。

分析の結果①クラブ現在の状況の把握として長所と短所を振り分ける。②クラブのビジョンを描く。3年先のクラブのなりたい姿を想像します。③ビジョンに対する具体的な3年計画を立てます。④目標に対する進捗状況の把握と修正を定期的に行います。そして、これらの**分析と計画の立案には会員の満足度を向上させるためにも全会員の参加が最も重要**です。戦略計画の立案にはリソースとして国際ロータリーの資料「戦略計画立案ガイド」があります。

強いクラブを創るためには会員の満足度が高くなければなりません。当然のことですが、満足していれば退会者が減少します。そして、前述したようにロータリーの中核的価値観に基づいた行動をしていけば入会予定者にも魅力的なクラブとして映るはずです。その結果、会員増強に繋がれば多くのアイデアが生まれ行動するマンパワーにも恵まれることになります。私はすぐにも全てのクラブが「**会員満足度調査**」をするように提案します。

■ クラブの存続をかけた行動

私は先日あるクラブの会長からメールをいただきました。会員の減少が著しく、この一年間は会員増強にクラブの存続をかけ全力で運営をしていきたいとのことでありました。会員減少の引き金にはロータリーの二つの地区をまたがる市町村合併もあったようです。掲載の文中のフォーラムのパネリストには近郊クラブの若い会員に受けてもらい新鮮なアイデアを参考にして立て直しをはかるそうです。必死に頑張っているクラブがあることを知ってほしいとのことでしたので、メールの一部をクラブや個人が特定される部分は伏せ字として斜体文字で掲載します。是非とも強いクラブに生まれ変わっていただきたいと心から願うものです。

「創立満40年来年3月に迎える当クラブは、高齢化等で退会者が増え、本年度はついに会員数が10名を切る危機的状況になってしまいました。

この危機的状況に直面し、「あ〜もう駄目だ」と考えるか、「今一度努力しよう」と考えるかは人によって異なるところですが、私は「今迄、会員増強に本気で対処して来ただろうか？」と反省し「皆で今一度努力しよう」と考え、この1年間を「〇〇ロータリークラブ会員増強特別年度」と位置づけ、会員増強に取り組む決意です。会員各位の最大限のご協力をお願い致します。

意気込みだけでは成果は上がりません。具体的には本年9月11日にフォーラム(公開討論会)「〇〇みらいロータリークラブ」を開催する計画を立てました。一人でも多くの方々にフォーラムへご参加頂き、ロータリーを正しく知って頂き、ロータリーへ参加して頂きたいと考えております。

年度初期にはこの準備に傾注し、フォーラム開催後は多くの方々に当クラブへの加入をお勧めする事に最大限の努力をし、本年12月末迄には多くの方々に入会して頂きたいと考えています。

私は、現会員全員が発起人になり新たなクラブ「〇〇みらいロータリークラブ」を設立する気概で取り組みたいと考えます。会員の皆様にも、是非同じ気概で取り組んで頂きたいと考えます。」